

# 特定保健指導とは

新潟県立加茂病院 健診センター

特定保健指導とは、特定健診の結果により行われる保健指導のことです。対象の選定は以下の基準で行われ、その結果を受け保険者の責任で計画的に保健指導を行います。①**動機付け支援** ②**積極的支援**の対象となった方が全員保健指導を受けるわけでは無く、年齢や本人の意欲などを考慮し、保険者が特定保健指導の利用者を決定します。

## 特定保健指導階層化基準 ※服薬中の方は除外

腹囲	追加リスク	対象		
	①血糖 ②脂質 ③血圧	④喫煙歴	40～64歳	65～74歳
男性85cm以上 女性90cm以上	2つ以上該当	-	積極的支援	動機付け支援
	1つ該当	あり なし		
上記以外で BMI25以上	3つ該当	-	積極的支援	動機付け支援
	2つ該当	あり なし		
	1つ該当	-		

- ①**血糖** **【適用基準】空腹時血糖100mg/dl以上 又は HbA1c5.6%以上**  
 ■空腹時血糖とは、食事を10時間以上摂っていない時の血液中のブドウ糖の量です。この数値が126を超えると糖尿病の疑いがあります。110を超えると注意が必要です。  
 ■HbA1cとは、最近1ヶ月程度の血糖値の程度を示します。検査当日の食事の影響を受けないことと、中期的な血糖の変動の把握に役立ちます。
- ②**脂質** **【適用基準】中性脂肪150mg/dl以上 又は HDLコレステロール40mg/dl未満**  
 ■中性脂肪とは、体のエネルギー源として血液中や肝臓に存在しています。余ると脂肪細胞に取り込まれ、食肉でいう脂身のように体に蓄積します。  
 ■HDLコレステロールとは、善玉コレステロールともいわれ、血液中の不要なコレステロールや中性脂肪を運搬し動脈硬化を予防します。少ないと血液中にコレステロールがたまり動脈硬化の原因になります。
- ③**血圧** **【適用基準】収縮期130mmHg以上 又は 拡張期85mmHg以上**  
 ■心臓が収縮して体に血液を送り出すときの血圧を収縮期血圧、血液が心臓に帰ってくるときの血圧を拡張期血圧といいます。血圧が高いと血管壁を傷つけ、動脈硬化を悪化させます。

### ①動機付け支援とは

初回面接で生活習慣の振り返りや目標の設定を行います。その後約3ヶ月後に腹囲、体重、血圧等の評価をお手紙、電子メールなどで行います。

### ②積極的支援とは

初回面接のほかに、支援中に面接、お手紙、電子メールなどでやりとりをしながら目標達成の支援をさせていただきます。3ヶ月経過後に最終評価として腹囲、体重、血圧等の評価を行います。